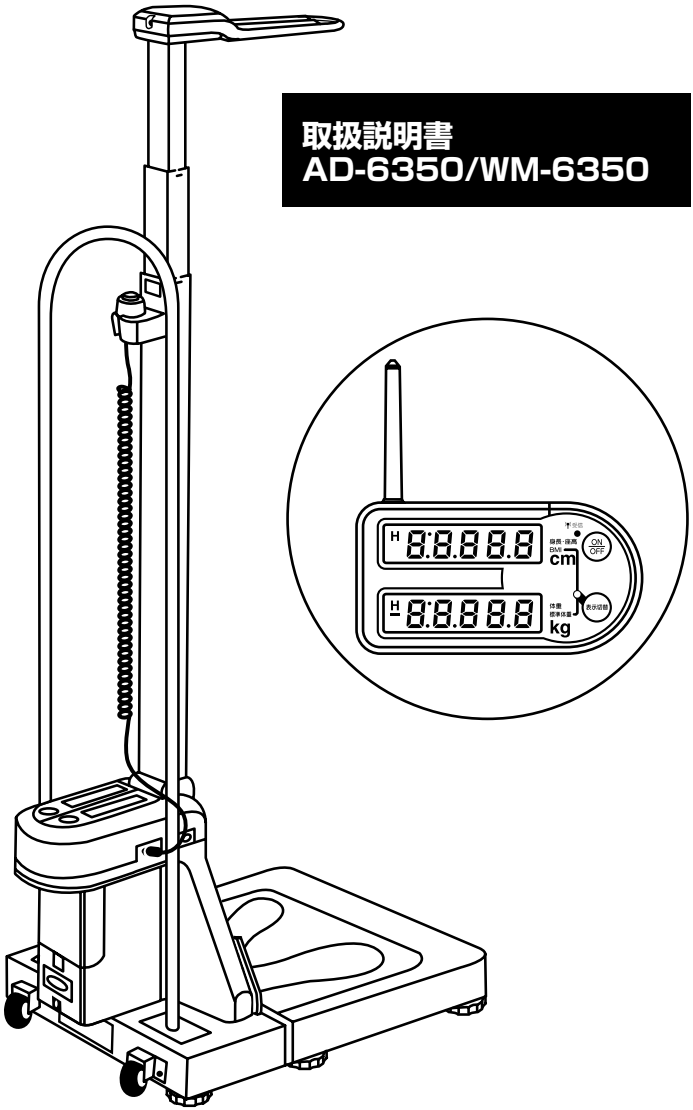
型式承認　第 D088 号

A&D Medical

デジタル身長・体重計



取扱説明書
AD-6350/WM-6350

● 目次

目次 …… 1
ご使用にあたっての注意事項 …… 3
1. 梱包内容 …… 12
1-1　本体梱包内容 …… 12
1-2　別売オプション …… 12

身長体重計編 …… 13
2. 各部の名称と機能 …… 13
2-1　名称 …… 13
2-2　表示部 …… 14
2-3　仕様 …… 15
3. 機器の設置 …… 16
3-1　ホールドスイッチの取り付け方 …… 16
3-2　機器を水平に設置する …… 16
4. 電源について …… 17
4-1　AC 電源での使用 …… 17
4-2　電池での使用 …… 17
5. 使用方法 …… 18
5-1　ご使用の前に …… 地域によって重さが変わる …… 18
5-2　測定を開始する（身長体重計モード） …… 18
5-3　身長・体重測定 …… 19
5-4　座高測定 …… 座高計に早がわり …… 20
6. いろんな機能 …… 21
6-1　基点検出機能 …… Err 表示 …… 21
6-2　体重表示値安定報知機能 …… 数値の安定が確認 …… 21
6-3　ホールド（表示値一時保持）機能 …… 21
6-4　体重測定値オーバー表示機能 …… 体重が 150kg をこえたら …… 22
6-5　バッテリーアラーム機能 …… 乾電池が消耗したら …… 22
6-6　オートパワーオフ機能 …… 節電のために …… 22
6-7　ブザー機能 …… 音でも確認 …… 22
6-8　ゼロセット（風袋引き）機能 …… 風袋を引いた体重測定が可能 …… 23
7. 測定結果のプリントアウト …… 24
7-1　集団検診モードと個人別肥満度検診モード … BMI、ブローカ変法 …… 24
7-2　出力信号 …… 24
7-3　使用方法 …… 25
7-4　プリンタの印字例 …… 26
8. コンピュータとの接続 …… 27
8-1　マニュアルモードとコマンドモード …… 27
8-2　インターフェイス仕様 …… 27
8-3　出力データ・フォーマット …… 28
8-4　コマンド・フォーマット …… 28

● 目次

9. ワイヤレスモニタ（オプション）との接続 …… 29
9-1　インターフェイス仕様 …… 29
10. 機能の設定 …… 30
10-1　機能の設定概略図 …… 30
10-2　プリンタ出力モードの設定（肥満度判定機能） …… 31
10-3　オートパワーオフの設定（自動節電機能） …… 31
10-4　ブザーの設定 …… 32
10-5　無線出力の設定 …… 32
10-6　コンピュータ出力モードの設定 …… 33
10-7　RS-232C インターフェイスの設定 …… データビット長、ボーレートの設定 34
パリティチェックの設定 …… 35
10-8　工場出荷時の設定 …… 35
10-9　自己診断・修正機能 …… 36
10-10　はかりモード …… 37
11. 重力加速度設定値および使用区域 …… 38
11-1 地域別重力加速度一覧 …… どの地域でお使いですか …… 38

ワイヤレスモニタ編 …… 39
12. 各部の名称と機能 …… 39
12-1　名称および表示部 …… 39
12-2　仕様 …… 40
13. 電池の設置・交換 …… 41
14. 使用方法 …… 42
14-1　測定値を表示する …… 42
14-2　BMI・標準体重を表示する …… 42
15. いろんな機能 …… 43
15-1　オートパワーオフ機能 …… 43
15-2　無線受信に関するエラー表示 …… 43
15-3　電池残量警告（ローバッテリー）表示 …… 43
15-4　計算不可表示 …… 43
16. 機器の設定 …… 44
16-1　無線 ID の設定（複数台の身長体重計を同時にご使用される場合） …… 44
16-2　工場出荷時の設定 …… 45
16-3　自己診断・修正機能 …… 45

17. 使用前点検 …… 46
17-1　電源投入前 …… 46
17-2　電源投入後 …… 46
18. 保守点検 …… 47
19. こんな時には　故障かなと思う前に …… 48
20. 保証書および修理規定 …… 50

はじめに

この度は「デジタル身長・体重計」をお求めいただき、まことにありがとうございます。
「デジタル身長・体重計」は光学式読み取り方式による身長計部と、高性能ロードセル方式の体重計部で構成された身長・体重計です。
身長と体重の同時測定はもちろんのこと、測定値を微弱無線出力することにより、ワイヤレスモニタ（オプション）で離れた場所でも測定結果が確認できます。
また、専用の座高計イス（オプション）で座高計としての利用、肥満度判定、コンピュータ出力などいろいろな機能でお役に立てる身長体重計です。
この取扱説明書は本機器を正しくご使用いただくために必要な情報を記載しています。製品をご使用前に必ずお読みの上、十分に理解されてからお使いください。
また、いつでも取り出せるよう大切に保管してください。

注意事項の表記方法

取扱説明書および製品には、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐため、次の警告サインと図記号で表示しています。警告サインと図記号の意味は次の通りです。

警告サインの意味

⚠危 険	この表記は、無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容を示します。
⚠警 告	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注 意	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号の意味

	△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを示しています。具体的な注意事項は△の中や近くの文書や絵で記され、左図の場合は「感電注意」を示します。
	⃠記号はしてはいけないこと（禁止）を示しています。具体的な禁止内容は⃠の中や近くの文書や絵で記され、左図の場合「分解禁止」を示します。
	❗記号は必ず守っていただきたいこと（強制）を示しています。具体的な強制内容は❗の中や近くに文書や絵で記され、左図の場合「守っていただきたいこと」を示します。

この他にも、個別の注意事項がそれぞれのページに記載されていますので併せてご参照ください。

1）本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2）個々に記載されている外観および仕様は予告なしに変更することがあります。カタログ・取扱説明書の内容と多少異なる場合もありますのでご了承ください。
3）本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4）当社では、本機器の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、上記3）項にかかわらず如何なる責任も負いかねますのでご了承ください。

使用上（安全および危険防止）の注意事項

本機器を正しく安全にお使いいただくために、以下の注意事項を熟読された上でお取り扱いください。ここに記載されている内容は、機器の安全な取り扱いの他、測定者および被測定者の安全についての一般的な事柄をまとめたものです。機器特有の注意事項については、以降の本文中に記載しておりますので、ご使用前に本取扱説明書をご一読ください。

1. 機器の設置および保管は、次の点に注意してください。

⚠危険	
	・可燃性の高い麻酔薬あるいは引火性ガスの発生する場所、および高圧酸素室、酸素テント内に本機器を持ち込んで使用しないでください。引火爆発の原因になります。

⚠注意	
	□下記の使用環境、保管環境でご使用ください。 ・水のかからない場所。 ・高温、多湿にならない場所、直射日光の当たらない場所、ほこりの少ない場所、および塩分、イオウ分などを含んだ空気にさらされない場所。 ・傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）のない水平で安定した場所。 ・本機器および被験者の重さに耐えうる場所。 ・暖房器具の近く、または空調機の風が直接当たる場所には置かないでください。 ・無線 LAN など、他の無線機器が設置されていない場所。 ・化学薬品が保管されていたり、ガスが発生しない場所。 ・室温が使用温度範囲内（+5℃～+35℃）の場所。 ・機器の電源（周波数、電圧、電流）に十分対応できるコンセントが用意された場所。

⚠注意	
❗	□製品の設置・移動時は、下記にご注意ください。 ・本機器を移動する時は、支柱を完全に収納してから移動すること。 移動中に支柱のカーソルが落下してケガをする原因になります。 ・本機器を運搬用台車として使用しないこと。 故障の原因になります。 ・屋外や平坦でない床面ではキャスターを使用して移動しないこと。 故障の原因になります。 移動の際は屋内の平坦な床面でのみキャスターを使用してください。 ・移動中に本体のまわりに人や物がないことを確認すること。 ・移動中に本体を壁や物などにぶつけないこと。 故障の原因になります。 ・乱暴に取り扱わないこと。 故障の原因になります。 ・本機器を移動する時は、AC アダプタやケーブル類を本体より取り外してから移動すること。
	・本機器は重量物のため、設置、移動時に手や足をはさまないようにご注意ください。

2. 機器を使用する前に次の点を確認してください。

⚠警告	
	・ＡＣアダプタの電源電圧は AC100V でご使用ください。 火災や感電の原因になります。

⚠注意	
❗	・機器が安全かつ正確に動作すること。 ・すべてのケーブルが正しくかつ完全に接続されていること。 ・支柱が完全に収納された状態で電源を入れること。 ・他の医療用テレメータとの相互干渉に注意して問題がないことを確認すること。 ・ＡＣアダプタご使用の際は付属されている専用の AC アダプタを使用すること。 ・安全に正しく使用するために使用前点検を必ず行うこと。 ・機器に結露がある場合は、十分に乾燥してから電源を入れること。 ・取引や証明に使用される場合、製品の使用可能区域を本機器に貼付された重力加速度の範囲と本紙の「地域別重力加速度一覧」からご確認ください。 ・「ひょう量」「最小測定量」は定格銘板または本体の表示部をご確認ください。

⚠注意	
	・本機器は人間の身長・体重を測定すること以外の目的で使用しないこと。 ・本機器の上に重いものを載せたり、本機器の下敷きにしないこと。 火災・感電の原因になります。 ・ＡＣアダプタおよびＡＣアダプタの差込口が破損している場合は使用しないこと。 感電や絶縁劣化により漏電火災の原因になります。 ・電池を交換する際は、全て新しい電池に交換し、新旧の電池を混在させないこと。 故障の原因になります。 ・電池は＋・－の極性に注意し、正しく設置すること。 ・当社指定外のオプション品・消耗品は取り付けないこと。 ・濡れた手で電池を交換しないこと。 感電の原因になります。 ・充電池（二次電池）は使用しないこと。

3. 機器の使用中は次の点に注意してください。

⚠注意	
	・機器全般および被測定者に異常のないことを絶えず監視すること。 ・機器全般および被測定者に異常が発見された場合には、安全な状態で機器の動作を止める等適切な措置を講ずること。 ・計量台の下に物が入り込んだ状態や､周囲の壁などとの接触を避けること。 測定に影響します。 ・測定時は静かに計量台にのり、測定が終了するまで体を動かさないこと。
	・強磁界および強電界中では使用しないこと。 ・温度変化の激しい場所では使用しないこと。 測定値に誤差を生じる恐れがあります。温度差のある場所に移動するような場合は、移動後十分時間が経過してからご使用ください。 ・ボールペンなど尖った物で表示部のスイッチ等を押さないこと。 故障の原因になります。 ・支柱、補助バー、手すりに寄りかかったり、ぶら下がったりしないこと。 転倒の恐れがあります。 ・計量台に飛びのったり、乱暴に取り扱わないこと。 ケガや故障の原因になります。

4. 機器の使用後は次の点を確認してください。

⚠注意	
	・付属品等は清掃した後、整理し保管すること。 ・機器は次回の使用に支障のないよう必ず清掃しておくこと。
	・ケーブル類を取り外す時は、ケーブルを持って引き抜く等無理な力をかけないこと。 故障の原因になります。 ・長期間ご使用にならない場合は電池を抜いておくこと。

5. 機器が異常と思われた時は、次の処置をしてください。

⚠警告	
	・測定者および被測定者の安全を確保すること。 ・機器の動作を止め、電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜くこと。 ・機器に「故障」「使用禁止」等の表示を行い、速やかに当社までご連絡ください。 ・体重計の校正はお客様では行なえません。当社またはお買い求めの販売店にご相談ください。

6. 保守・点検については次の点に注意してください。

⚠警告	
	・お手入れの際は、感電防止のため、ACアダプタや乾電池を抜くこと。 ・しばらく使用しなかった機器を再使用する時は、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に動作することを確認すること。 ・安全に正しく使用するため、使用前点検、保守点検は必ず行ってください。機器の使用・保守の管理責任は、設置者（施設、学校、病院・診療所）側にあります。使用前点検や保守点検を怠ると事故の原因になります。 ・本機器を取引や証明に使用する場合、2年に1回定期検査（検定）を受けることが義務づけられています。定期検査は都道府県の指定した施設にて行いますので、詳細は各都道府県にお問い合わせください。 ・定期検査中では測定モード切替スイッチを「はかりモード」に設定してください。
	・本機器の分解、および改造は絶対にしないでください。ケガ、火災、感電の原因になります。

7. 強い電磁波やノイズにより誤動作を起こすことがありますので注意してください。

⚠注意
■本機器は、周囲に強い電磁波やノイズ等が存在すると、誤動作を起こす恐れがあります。機器の使用中、意図せぬ誤動作が発生した場合は、電磁環境の状況を調査し、必要な対策を実施してください。 一般的な原因と対策の一例をあげます。 【事例 -1】携帯電話やマイクロ波治療装置等の近くでの使用 電波によって予期せぬ誤動作をして正確に測定できない恐れがあります。 ・ 医用電気機器の設置してある部屋または建物の中では、携帯電話や小型無線機器等の電源を切るよう指導する。 ・ 本機器を使用中はマイクロ波治療装置等の使用を控える。 【事例 -2】電源コンセント等を伝わって､他の機器から高周波雑音が入った場合 ・ 雑音源を確認し、その経路を雑音除去装置等により対策する。 ・ 雑音源が停止できる機器であれば、その使用を止める。 ・ 他の電源コンセントから電源を取る。 ・ 乾電池を使用する。 【事例 -3】静電気の影響があると思われる場合（機器およびその周辺での放電） ・ 装置を使用する前に、測定者、被測定者とも十分に放電を行う。 ・ 部屋を加湿する。 【事例 -4】落雷等による影響 近くで雷が発生した時は、過大な電圧が機器に誘導されることがあります。このような場合は次の方法で機器を動作させてください。 ・ 無停電電源装置（JIS T0601-1 に適合している機種）を使用する。

8. 環境保護

⚠警告
・ 本機器を廃棄する時は、各自治体のリサイクルプランに従い処理してください。

安全測定のための警告および注意

測定に関する警告および注意事項を記載致します。測定結果の自己判断、治療は危険ですので医師の指導に従ってください。

⚠警告	
	・表示器やケーブルでつまずかないよう、設置場所に注意してください。 ・本機器には角や段差があります。転倒したり、ぶつけてケガをしないよう注意してください。
	・支柱、表示器、補助バーの上に登ったり、ぶら下がったりしないこと。ケガや転倒の恐れがあります。 ・計量台の端に乗らないこと。転倒の恐れがあります。計量台の中央部にのってください。 ・計量台に飛びのったり、端にのらないでください。ケガや転倒の恐れがあります。 ・支柱や補助バーに寄りかからないでください。転倒する恐れがあります。
	・移動時に、計量台やキャスターに足をはさまないように注意してください。

お知らせ

・計量部には足型に合わせて正しい姿勢でおのりください。
・体動（揺らぎ）の大きい被測定者の場合、正しく測定できない場合があります。
・通常の測定は「身体計モード」でご使用ください。
　本機器の定期検査を受ける場合にのみ「はかりモード」に切り替えてください。
・測定中に動いたりした場合、正しく測定できません。
・座高測定にはオプションの専用座高計イス（30cm）が必要です。

機器全体のご注意

本機器を安全に正しくご使用いただくため、本書をよく読み、大切に保管してください。
注意事項は下記以外にも本書内に記載されています。

本機器は絶対に分解や改造をしないでください。
分解・改造された製品について、当社はいかなる責任も負いかねます。

本機器は幼児の手の届かない場所に保管してください。
ケガの原因になることがあります。

本機器はお住まいの自治体の規則に従い、正しく廃棄してください。

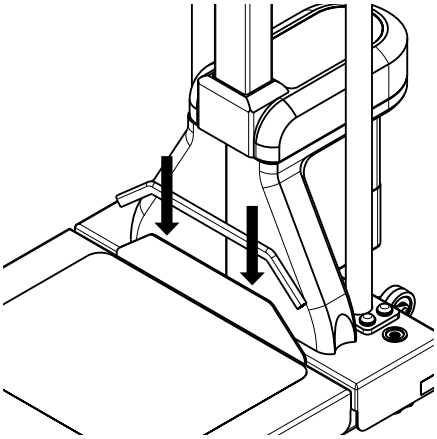
身長体重計使用上の注意事項

設置上のご注意
・本体を移動する際は補助バーを持ち、傾けて移動してください。
・支柱部を持って持ち上げる等の行為は避けてください。
・振動や風の影響を受けない、平らな場所に設置してください。
・落下や転倒など、本体に大きな衝撃または振動を与えないでください。
・湿気やほこりの多い場所でのご使用を控えてください。
・直射日光の当たる場所に本体を設置しないでください。
・外来電源ノイズや強力な電波・磁気などが発生する場所に、設置しないでください。
・水平器を見ながら底部にある高さ調整ネジ（6 ヶ所）を回し、本体が水平になるように調整してください。
・長時間ご使用にならない場合は電池を抜いてください。
・濡れた手で電池を交換しないでください。
・電池交換は、全て新しい電池に交換し、新・旧の電池を一緒に使用しないでください。
・電池は＋・－の極性に注意し、正しく取り扱ってください。

使用上のご注意
・体重計の校正はお客様では行えません。お買い求めの販売店にご相談ください。
・本機器は検定付計量器です。取引や証明に使用される場合、製品の使用可能区域を本体に貼り付けられている重力加速度の範囲と 38 ページ「地域別重力加速度一覧」からご確認ください。
・取引または証明に使用する「ひょう量」「最小測定量」は定格銘板および表示部に記載されています。
・本機器は使用温度範囲内でご使用ください。
・本機器を取引または証明に使用する場合、2 年ごとに定期検査を受ける必要があります。
・定期検査には測定モード切替スイッチを「はかりモード」に設定し、ご使用ください。
・計量台に飛びのるなど、乱暴に取り扱わないでください。ケガや故障の原因になります。

身長体重計使用上の注意事項（つづき）

足当てカバーの取付方法
本体から足当てカバーが外れてしまった場合は足当ての上にカバーを設置し、上から指で押さえて取り付けてください。



ワイヤレスモニタ使用上の注意事項（オプション）

設置上のご注意
・落下や転倒など、本体に大きな衝撃または振動を与えないでください。
・振動や風の影響を受けない、平らな場所に設置してください。
・湿気やほこりの多い場所でのご使用を控えてください。
・直射日光の当たる場所でのご使用を控えてください。
・外来電源ノイズや強力な電波・磁気などが発生する場所に設置しないでください。
・電池交換は、全て新しい電池に交換し、新・旧の電池を一緒に使用しないでください。
・電池は＋・－の極性に注意し、正しく取り扱ってください。
・周囲の環境により無線電波を受信しにくい場合は、設置場所や機器の向きを変更してください。
・複数の身長体重計が隣接し電波が混信した場合は、正常に表示できません。
十分な距離を空けて設置してください。

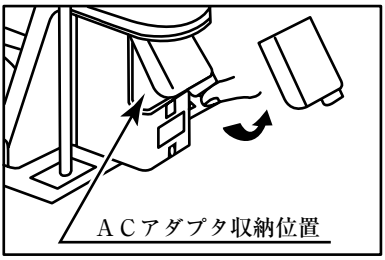
使用上のご注意
・本機器は身長体重計のエラー表示もそのまま表示します。エラー表示を確認した場合は身長体重計の表示と見比べ､どちらの機器がエラーを表示しているか判断してください。
・本機器は使用温度範囲内でご使用ください。
・本機器を投げるなど乱暴に扱わないでください。

1．梱包内容

▼ 1-1　本体梱包内容

品　　名	デジタル身長・体重計 AD-6350	ワイヤレスモニタ （オプション） WM-6350
身長体重計本体	○	
取扱説明書 / 保証書	○	保証書のみ
電池ケース	○	
AC アダプタ　※	○	
ホールドスイッチ	○	
ワイヤレスモニタ		○
単 3 形電池× 4 本		○

※ＡＣアダプタは下図のようにＡＣアダプタ収納カバー内に梱包されています。



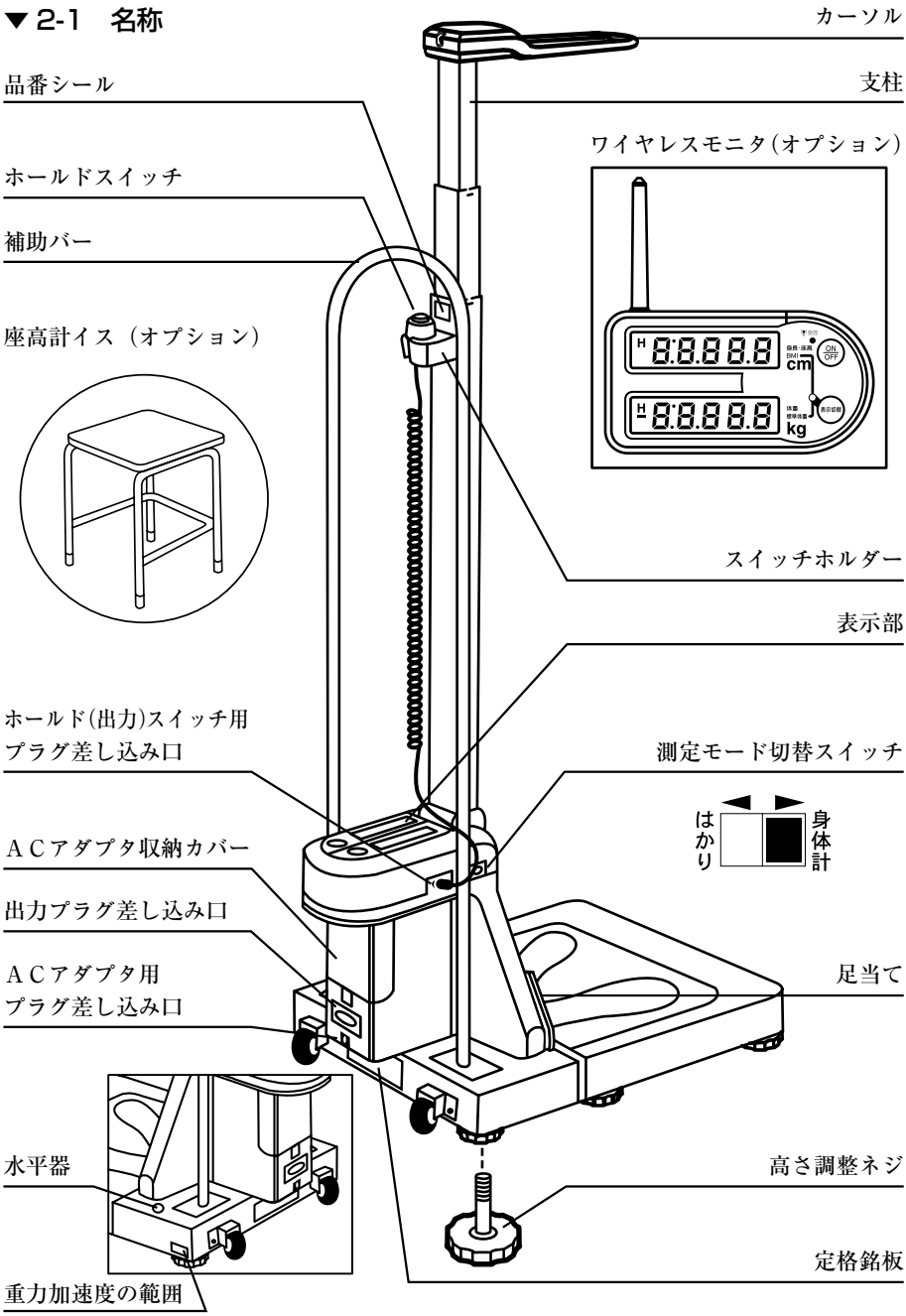
▼ 1-2　別売オプション

商　品　名	品　　番	商品コード
ワイヤレスモニタ	WM-6350	AD-WM6350
座高計イス（30cm）	AD6226-02	AD6226-02
デスクトッププリンタ	AD-8123-100	AD8123-100 00006
コンピュータ専用ケーブル（2m）	AX-KO3704-200	AX-KO3704-200
プリンタペーパー（10 巻）	AX-PP123-S	AX-PP123-S
ホールドスイッチ　※	AD6226-03	AD6226-03
ＡＣアダプタ　※	AD6226-04	AD6226-04

※本体付属品と同じ。

2. 各部の名称と機能

▼2-1　名称



▼2-2　表示部

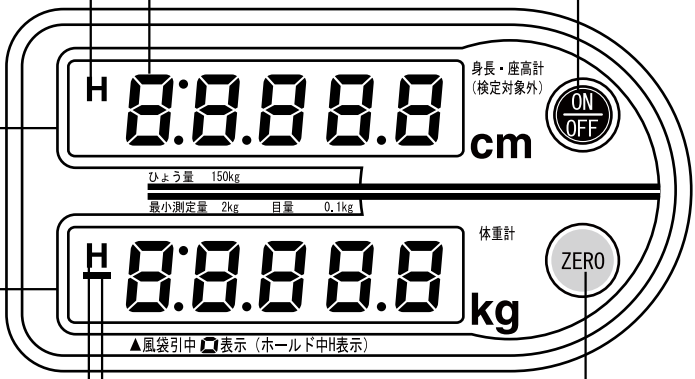
ホールド表示
・ホールドスイッチを押し、表示値を一時保持（ホールド）した状態で表示します。

ON/OFF：電源 ON/OFF キー
・電源の ON/OFF に使います。
・オートパワーオフ機能によって 表示 が消えたときは再び電源 ON/OFF キーで ON してください。

文字表示

身長表示部

体重表示部



ZERO：ゼロセットキー
・体重表示をゼロに、または風袋引きをセットします。（安定時のみ）
・ゼロセットキーを押しながら電源 ON すると座高計モードに切り替わります。

マイナス表示
風袋引きなど数値がマイナスになれば、表示します。

ホールド表示
・ホールドスイッチを押し、表示値を一時保持（ホールド）した状態で表示します。
・体重が安定すれば点滅表示します。

ご注意
本体の表示部には、BMI／標準体重は、表示できません。
別売の専用プリンタ（AD-8123-100）もしくはワイヤレスモニタ（WM-6350）が必要です。

▼ 2-3　仕様

品　　番	AD-6350	
品　　名	デジタル身長・体重計	
	身長（座高）計部	体重計部
検 出 方 法	透過式フォト・インタラプタ方式	ロードセル方式
測 定 方 法	支柱 3 段伸縮式	
測 定 範 囲	身長　85.0cm ～ 209.0cm 座高　55.0cm ～ 179.0cm （30cm 専用イス使用）	2.0kg ～ 150.0kg
表　　示	デジタル 4 桁　LCD 表示	
表 示 単 位	0.1cm（1mm）	0.1kg（100g）
精　　度	± 1mm + 1digit	± 0.1kg
機　　能	不完全収納時の Err 表示 （基点検出機能）	ゼロセット（風袋引き）機能 表示値安定報知機能
	表示値保持（ホールド）機能、出力（コンピュータ・プリンタ・ワイヤレスモニタ）機能、オートパワーオフ機能、自己診断・修正機能	
使用温湿度範囲	+5℃～ +35℃ / 75% RH 以下 (結露なきこと)	
電　　源	AC100V 50/60Hz（専用 AC アダプタ使用）または、単 2 形乾電池 4 本	
重量 / 外形寸法	12.2kg / 330（W）× 492（L）× 1035（H）mm	
出 力 形 式	RS-232C、微弱無線	
材　　質	支柱 / アルミ、台座 / 鉄、カーソル /ABS 樹脂、補助バー / ステンレス	
付　属　品	AC アダプタ、電池ケース、取扱説明書、ホールドスイッチ	

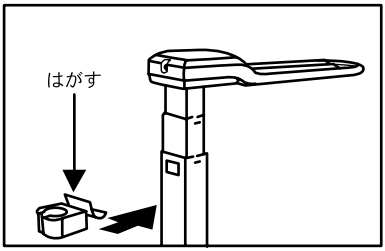
3. 機器の設置

▼ 3-1　ホールドスイッチの取り付け方

1.スイッチホルダーの取り付け方

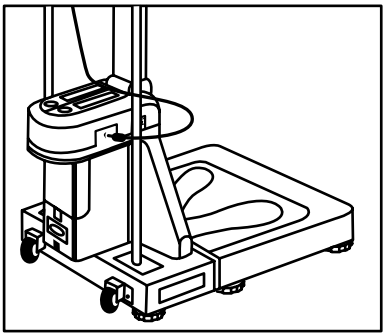
スイッチホルダー裏面の紙をはがし、支柱の背面に取り付けてください。

※カーソル後部にあたらないよう、品番シールの下側に取り付けてください。



2.ホールドスイッチの取り付け方

ホールドスイッチ用プラグ差込み口にプラグを差込み､スイッチホルダーにセットします。



▼ 3-2　機器を水平に設置する

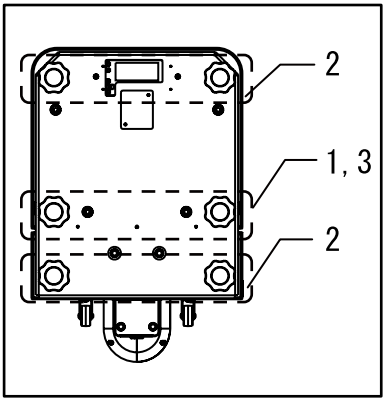
本機器は正確な測定を行う為に 6 本アジャスター方式を採用しておりますので、以下の手順により製品を水平に設置してください。

1. 機器底面に設置されている 6 つの高さ調整ネジのうち、真ん中の 2 本を可能な限り上にあげておきます。
2. 4 隅の高さ調整ネジで、水平器の気泡が正常範囲になるよう調整します。

正常範囲　　異常

3. 真ん中の 2 本の高さ調整ネジが設置面から浮かないよう、可能な限り下げます。この時、他の高さ調整ネジよりも高くならないようご注意ください。

※一度台座に乗り、気泡の位置が正常範囲であることを確認してください。

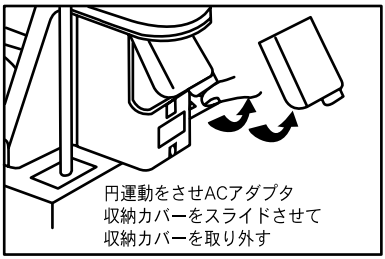


4. 電源について

本体は AC、DC（電池）両電源が使用できます。

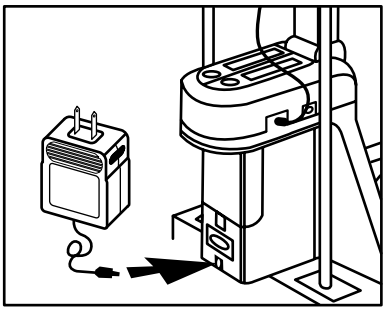
▼4-1　AC 電源での使用

1. AC アダプタ収納カバーを外し、AC アダプタを取り出す。



2. AC アダプタ用差込み口へ AC アダプタのプラグを差込み、一方をコンセントに差し込む。

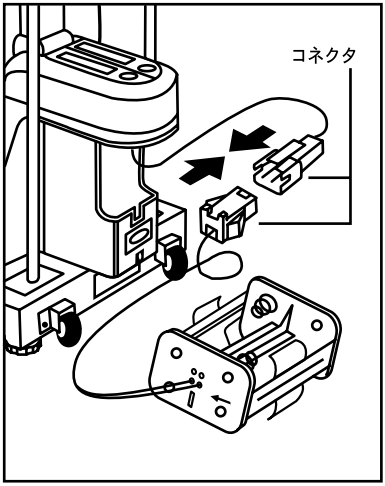
3. AC アダプタ収納カバーを元の位置へはめ込む。



※本機器専用 AC アダプタ以外は使用しないでください。

▼4-2　電池での使用

1. 単 2 形乾電池を 4 本使用します。
（マンガン乾電池で連続使用時間約 35 時間）
LR14、AM2 のアルカリ乾電池も使用可能です。
2. AC アダプタ収納カバーを外し、収納上部より出ているリード線を引き出してください。
3. 付属の電池ケース側コネクタとリード線側コネクタを接続する。
4. 電池の＋・－の向きを電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
5. リード線をまわしコネクタが上方へ行くように、電池ケースを収納部に入れてください。
6. AC アダプタ収納カバーを取り付けてください。



※電池交換の場合は、消耗した乾電池を取りはずし、4 本同時に新しい乾電池（単 2）と交換してください。

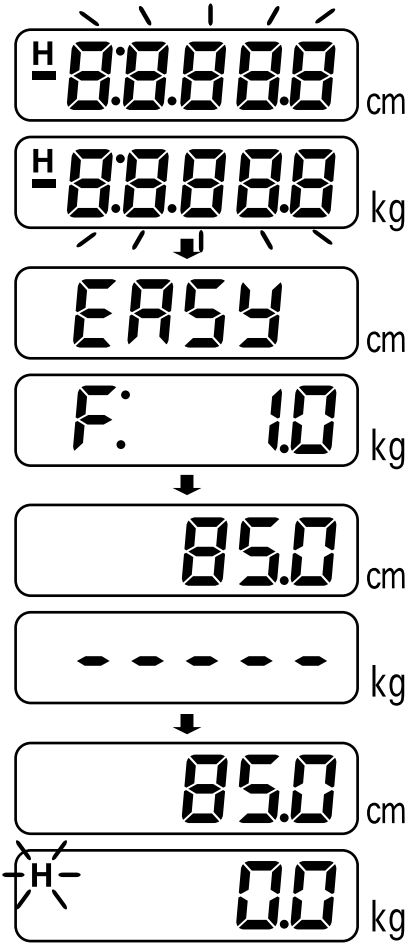
5. 使用方法

▼ 5-1　ご使用の前に

地域により地球の重力が変わるため、体重にも微妙に影響します。
ご使用の前に、38 ページの「地域別重力加速度一覧」を参照頂き、本体台座側面の重力加速度の範囲と合致している事をご確認ください。

▼ 5-2　測定を開始する（身長体重計モード）

1. AC アダプタまたは電池をセットする。
（17 ページ「電源について」参照）
2. 何も乗せない状態にする。
3. 支柱を完全収納する。
4. 測定モード切替スイッチを 身体計 側に切り替える。
5. ON/OFF キーを押す。（電源 ON 状態）表示が全点灯 / 全消灯を 5 回繰り返します。



ご注意

※0.0kg を表示する前に台座の上にのるとエラーになります。
※定期検査には測定モード切替スイッチの「はかりモード」をご使用ください。

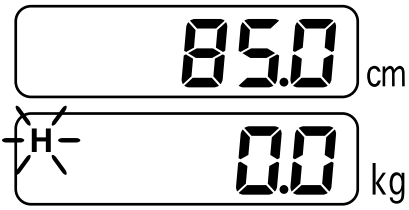
6.安定状態

H の点滅で安定状態を知らせます。

※電源 ON 時、身長表示部に Err が表示された場合、支柱を完全に収納してください。
（21 ページ「基点検出機能」参照）
※体重表示部に Err が表示された場合、自己診断・修正機能を参照ください。

▼ 5-3　身長・体重測定

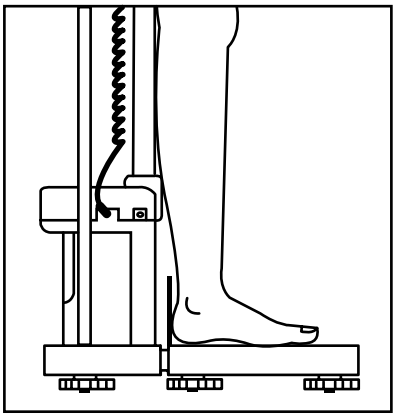
この状態で身長､体重が測定できます｡カーソルを身長以上に引き上げた状態にしてください。



1.台座の上にのる。

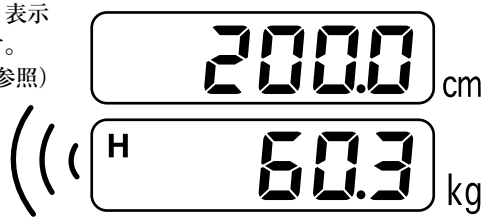
かかとを足当てにつける。
あごをひく。
背筋を伸ばす。

ご注意
支柱には背中をもたれないでください。

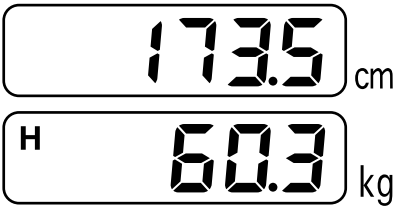


2.体重表示が安定するのを待つ。

ブザーで体重安定を知らせると共に、H 表示が固定になり、ホールド状態に入ります。
(21 ページ「体重表示値安定報知機能」参照)



3.カーソルを下げ、身長と体重を読み取る。



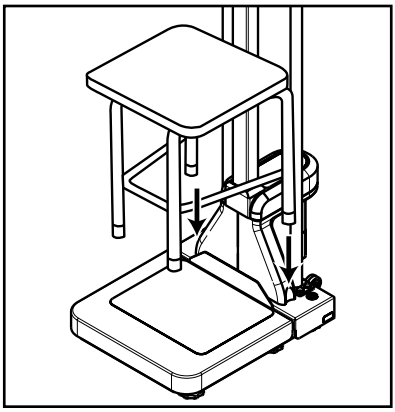
ご注意
必ず体重表示が安定してから、カーソルを押しあてて測定してください。カーソルを頭に押しあてた後、体重表示が安定しますと、カーソルにかかる力が体重に加算され表示します。

▼5-4　座高測定

座高計モードにより簡単に座高測定が可能です。

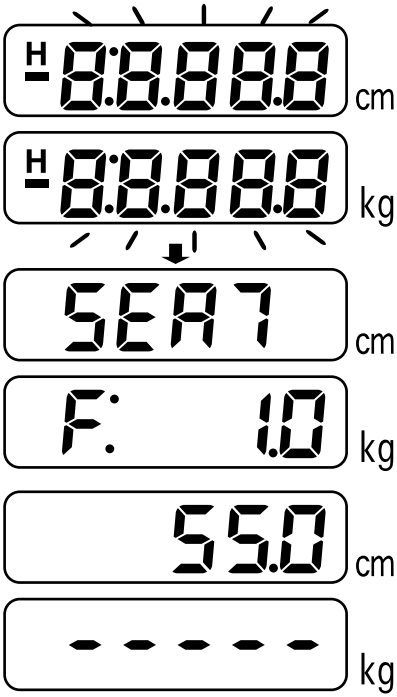
1.専用座高計イス（オプション）を台座の上にセットする。
表示部両側の溝にイスの足をセットしてください。

専用座高計イスのセット



2.座高計モードで電源 ON する。
ZERO キーを押しながら電源 ON することにより、座高計モードで起動します。
表示が全点灯 / 全消灯を 5 回繰り返します。

ZERO キーを押しながら電源 ON

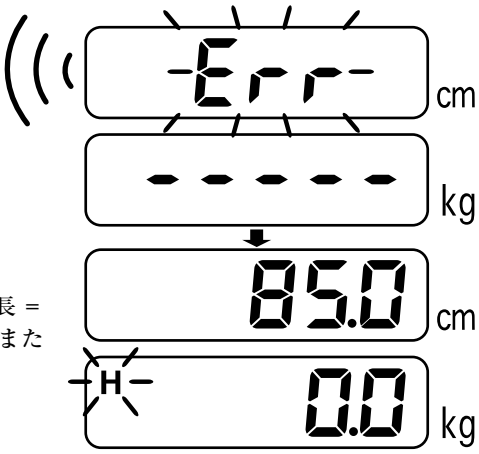


3.カーソルを上下させ、座高を測定します。
座高計モードでは、イスの高さ 30cm が引かれた表示になります。
※座高の測定値は身長と同じ表示部に出ます。
※この時、体重は測定できません。

6. いろんな機能

▼ 6-1　基点検出機能

電源 ON 時、支柱が完全に収納していない場合、身長（座高）表示部に Err が点灯表示されブザーが断続で 5 回なります。



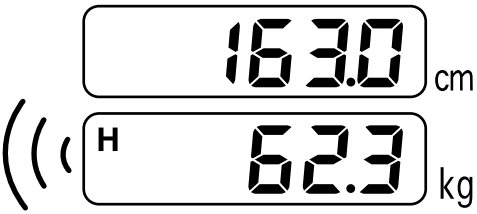
支柱を完全に収納すれば、基点（身長＝85.0cm・座高＝55.0cm）を表示し、身長または座高が測定できます。

▼ 6-2　体重表示値安定報知機能

体重表示が 1 秒以上安定した時、H（ホールド表示）の点灯とブザーの 2 回断続音で安定状態を知らせます。

※体重表示が 10kg 以上の場合は、安定後 3kg 以上の変動があるまで表示が保持されます。（はかりモードでは、はたらきません。）

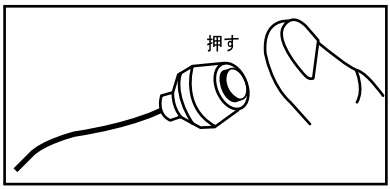
※10kg 未満の場合または、はかりモードではブザーがならず H の点滅で安定状態を知らせます。



▼ 6-3　ホールド（表示値一時保持）機能

表示値を一時保持します。その間、カーソルを上下したり、台座から被測定者が降りても、表示値は変わりません。

ただし台座から降りて 9 秒たつか、再度人がのれば自動的にホールドが解除されます。



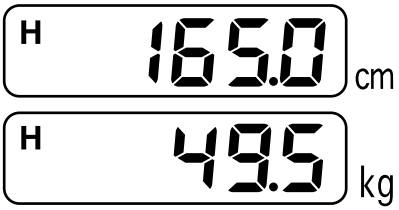
1.身長・体重が安定している時、ホールドスイッチを押す。（ホールド状態）

表示部の H（ホールド表示）が点灯して、ホールド状態を知らせます。

2.もう一度ホールドスイッチを押せば…。

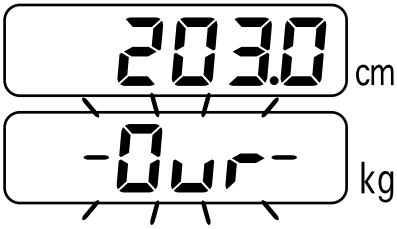
ホールド状態が解除され、現在の身長・体重（座高）の値を表示します。

（ホールドスイッチを押すごとにブザーが 1 回なります。）



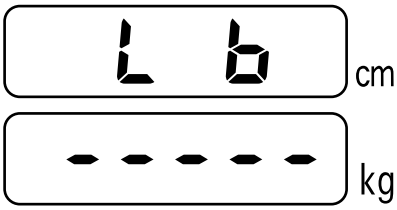
▼ 6-4　体重測定値オーバー表示機能

体重は 150.8kg を上限としています。150.8kg を超えた時、体重オーバーを知らせます。
台座から降りると元に戻ります。



▼ 6-5　バッテリーアラーム機能

乾電池でご使用の場合､乾電池が消耗しますと、低電圧（LOW BATTERY）の意味として、身長表示部に [L b] が表示されます。



[L b] 表示が出れば、消耗した乾電池を取りはずし、4 本同時に新しい乾電池 (単 2) と交換してください。

▼ 6-6　オートパワーオフ機能

10 分以上測定値に変化がない場合、節電のため電源が自動的に切れます。（電源 OFF 状態になる。）
(31 ペー ジ「オートパワーオフの設定」参照)

▼ 6-7　ブザー機能

ブザーで機器の状態をお知らせします。
(32 ページ「ブザーの設定」参照)

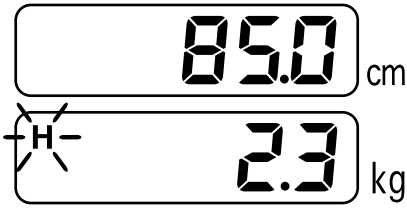
機能の種類	音の回数
基点検出エラー	5 回断続音
体重表示安定	2 回断続音
[ZERO] キー	1 回音
ホールド (出力) スイッチ	1 回音
ホールド自動解除	1 回音

6. いろんな機能（つづき）

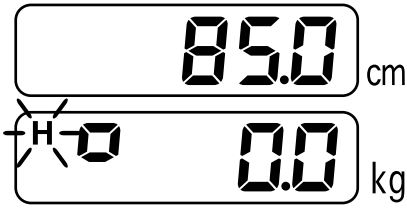
▼ 6-8　ゼロセット（風袋引き）機能

風袋を引いた体重が測定できます。

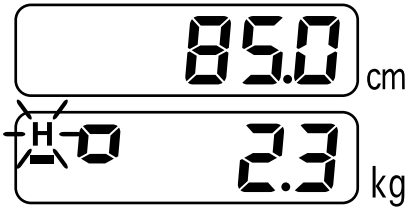
1. 台座に衣類や容器をのせます。



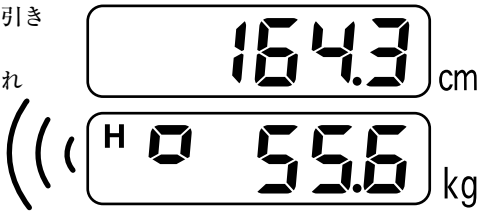
2. 表示の安定を確認し、ZERO キーを押す。
   0.5kg 以上の場合に有効です。



3. 衣類や容器を取り除きます。



4. 通常の身長・体重の測定を行うと、風袋引きの体重が表示されます。
   ※プリントアウト時、風袋引きが印字されます。



（風袋引き中 ◻ 表示します。）

ご注意

※3. の状態で再び ZERO キーを押すと風袋引きは解除されます。
※電源を切る（電源 OFF 状態）と風袋引きは解除されます。
※ ◻ 表示は体重表示が 0.5kg 以上で ZERO キーを押した場合のみ表示されます。

7. 測定結果のプリントアウト

デジタル身長・体重計は、オプションの専用デスクトッププリンタ（AD-8123-100）とプリンタ付属の専用ケーブルをご利用いただければ、測定結果や肥満度判定のプリントアウトができます。

▼ 7-1　集団検診モードと個人別肥満度検診モード

集団検診と個人別肥満度検診のプリントアウト（印字）ができます。
肥満度判定には BMI とブローカ変法の判定方法が選択できます。

	集団検診モードの印字内容	個人別肥満度検診モードの印字内容	
身長 / 体重	連続番号（1-9999）身長、体重	BMI	身長、体重、肥満度判定（肥満度％表示）
		ブローカ変法	身長、体重、肥満度判定（肥満度％表示）
座　　高	連続番号（1-9999）座高	不可	

ご注意

※工場出荷時、個人別肥満度検診モードは BMI に設定されています。
ブローカ変法および集団検診モードへの変更は、31 ページ「プリンタ出力モードの設定」を参照ください。

※個人別肥満度検診モードでは、以下の場合、身長、体重のみの印字で、肥満度判定は印字しません。

・BMI
　身長 100cm 未満または体重 10kg 未満のとき
・ブローカ変法
　身長 120cm 未満のとき

▼ 7-2　出力信号

表示データ（身長・体重・座高）は EIA RS-232C に準ずるインターフェイスにより、外部出力します。フォーマットはプリンタ用、コンピュータ用の 2 種類が準備してあります。2 種類の専用ケーブル接続時に自動設定されます。

7. 測定結果のプリントアウト（つづき）

▼ 7-3　使用方法

1. 本体出力プラグ差込み口にプリンタ専用ケーブルのプラグ（本体側）を差し込む。
2. 専用プリンタのプラグ差込み口に専用ケーブルの他方のプラグ(プリンタ側)を差し込む。
   ※プリンタの電源は専用 AC アダプタまたは充電により AC/DC 両電源が使えます。
3. 測定値が安定した状態で、出力スイッチを押せば、測定結果または肥満度判定を印字します。（プリントアウトする内容は設定に応じて変わります。詳細は 31 ページ「プリンタ出力モードの設定」を参照してください。）
   プリンタ専用ケーブルを本体側へ差し込めば、ホールドスイッチは出力スイッチになり、この間、ホールド機能ははたらきません。

※詳しくは、プリンタの取扱説明書をご覧ください。

BMI による肥満度判定

BMI	18.5 未満	18.5 以上 25 未満	25 以上 30 未満	30 以上 35 未満	35 以上 40 未満	40 以上
日本肥満学会による判定	やせ	普通	肥満 1 度	肥満 2 度	肥満 3 度	肥満 4 度
身長体重計の肥満度判定	ヤセガタ	フツウ	ヒマンド1	ヒマンド2	ヒマンド3	ヒマンド4

プリントアウト設定情報

・AD-6350

設定項目		初期設定	LCD 表示
コンピュータ出力モード		マニュアルモード	SET　C:　0
RS-232C の設定	データビット長	8bit	232C　d:　8
	ボーレート	4800 ボー	232C　b: 4800
	パリティチェック	あり (EVEN)	232C　P:　Evn

※出荷時の設定と同じになります。

・AD8123-100

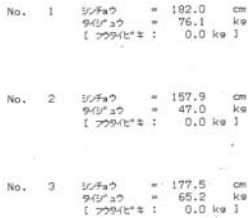
	SW1	SW2	SW3
1	OFF	ON	ON
2	ON	ON	OFF
3	ON	ON	OFF
4	OFF	ON	ON
5	ON	ON	ON
6	OFF	ON	OFF
7	ON	ON	OFF
8	ON	ON	OFF

※出荷時の設定と同じになります。

※詳細は、AD8123-100 の取扱説明書をご覧ください。

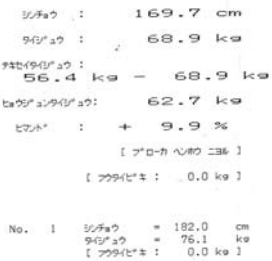
▼ 7-4　プリンタの印字例

集団検診モード



BMI による肥満度判定

ブローカ変法による肥満度%表示



8. コンピュータとの接続

デジタル身長・体重計は EIA RS-232C に準じ、外部出力します。コンピュータ専用ケーブル（AX-KO3704-200）を接続すると、自動的にコンピュータ用フォーマットで出力できます。操作にはホールドスイッチが必要です。

▼ 8-1　マニュアルモードとコマンドモード

本体側の出力プラグ差込み口へコンピュータ専用ケーブルのプラグを差し込めば、自動的にコンピュータ出力になります。
コンピュータとの通信には 2 つのモードから選択できます。
（モード設定は 33 ページ「コンピュータ出力モードの設定」を参照ください。）

	マニュアルモード	コマンドモード
身長 / 体重	出力スイッチを押すと身長、体重のデータを出力する。	コンピュータからのコマンド入力により身長、体重のデータを出力する。
座　　高	出力スイッチを押すと座高のデータを出力する。	コンピュータからのコマンド入力により、座高のデータを出力する。
備　　考	ホールドスイッチが出力スイッチとなる。この時、ホールドスイッチでのホールド機能は使用不可	ホールドスイッチでホールド機能は使用可

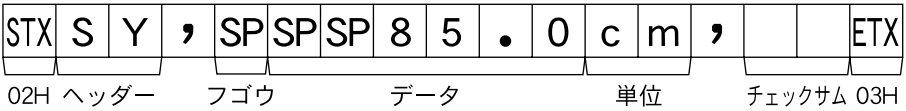
ご注意
肥満度判定データは出力しません。

▼ 8-2　インターフェイス仕様

データビット長、ボーレート、パリティが設定できます。
（34 ページ「RS-232C インターフェイスの設定」を参照ください。）

出　力　規　格	EIA　RS-232C に準ずる
伝　送　形　式	全二重、調歩同期式
制　御　方　式	RTS、CTS
データビット長	7 ビット、8 ビット
ボ　ー　レ　ー　ト	600、1200、2400、4800、9600 ボー
パリティチェック	あり（EVEN、ODD） なし
スタートビット	1 ビット
ストップビット	1 ビット
使　用　コ　ー　ド	ASCII

▼8-3　出力データ・フォーマット

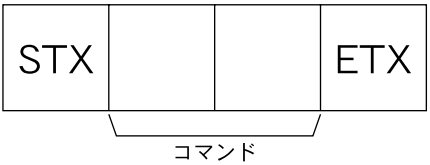


※ SP はスペース（20H）を意味します。

ヘッダーは次の 6 種類
SY：身長計正常
SE：身長計エラー（コマンドモード）
ZK：座高計正常
ZE：座高計エラー（コマンドモード）
TZ：体重計正常
TE：体重計エラー
OV：体重オーバー

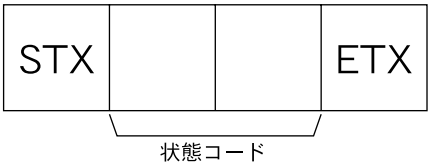
▼8-4　コマンド・フォーマット

1. 入力コマンド



SY：身長データ出力
ZK：座高データ出力
TZ：体重データ出力
ST：身長・体重データ出力
MS：身長・体重計状態出力コマンド

2. MS コマンド入力時の出力内容



SY：身長計のみ動作している
ZK：座高計として動作している
TZ：体重計のみ動作している
ST：身長計および体重計ともに動作している
ER：身長計、体重計、座高計、すべて動作していない
OV：体重オーバー

9. ワイヤレスモニタ（オプション）との接続

デジタル身長・体重計は微弱無線規格に準じ、測定値を外部出力します。機能設定により無線出力の有無や他の製品と識別する無線 ID の設定が変更できます。（各設定は 32 ページ「無線出力の設定」を参照ください。）
ワイヤレスモニタの操作方法などは、39 ページ「ワイヤレスモニタ編」をご覧ください。

ご注意
本機器は電波法第四条第一号に定められた「発射する電波が著しく微弱な無線局（微弱無線）」を使用していますので、取り扱いに資格・免許等は不要です。
ただし、本機器の分解・改造等は電波法で禁止されておりますので絶対に行わないでください。

▼ 9-1　インターフェイス仕様

出力規格	微弱無線規格に準じる
伝送形式	FSK 方式
周波数	315MHz
使用コード	ASCII

10. 機能の設定

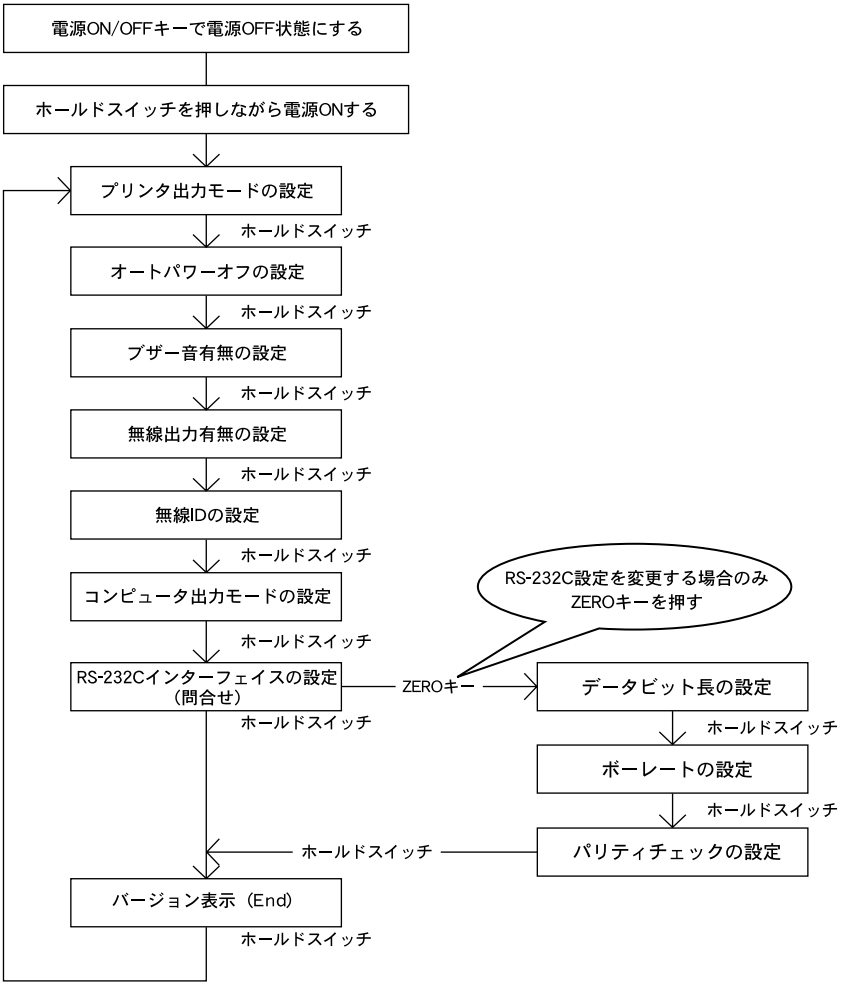
ホールドスイッチを利用すると機能の設定が行えます。

▼ 10-1 機能の設定概略図

ホールドスイッチ、 ZERO キーおよび電源 ON/OFF キーで各種機能の設定が簡単にセットできます。

【各種キーの主な動作】

- ●ホールドスイッチ　　……設定項目を次に送ります。
- ● ZERO キー ……設定値を変更します。（一部例外を除く。）
- ●電源 ON/OFF キー ……電源 ON もしくは設定値を保存し、電源 OFF します。



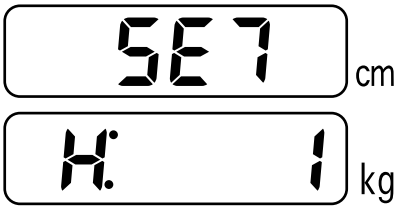
機能設定状態へ入るため、下記の操作を行ってください。
ホールドスイッチを押しながら、電源 ON する。

▼ 10-2　プリンタ出力モードの設定（肥満度判定機能）

プリントアウトする内容を、用途に応じて切り替えることができます。

1. ZERO キーを押すごとに、点滅部分の表示が変わります。

H	:	0	集団検診モード
H	:	1	BMI による肥満度判定
H	:	2	ブローカ変法による肥満度判定
H	:	3	BMI による肥満度％表示
H	:	4	ブローカ変法による肥満度％表示



いずれかに設定してください。

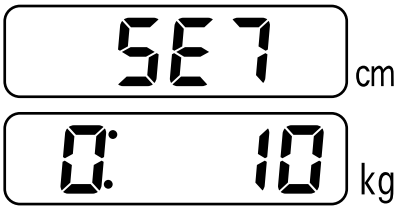
2. ON/OFF キーで設定を完了するか、ホールドスイッチを再び押し、「オートパワーオフの設定」へ進んでください。

▼ 10-3　オートパワーオフの設定（自動節電機能）

一定時間、本体を動作させないと、電源を自動的に切り節電します。

1. ZERO キーを押すごとに、点滅部分の表示が変わります。

0	:	10	オートパワーオフ　10 分
0	:	30	オートパワーオフ　30 分
0	:	60	オートパワーオフ　60 分
0	:	OFF	なし

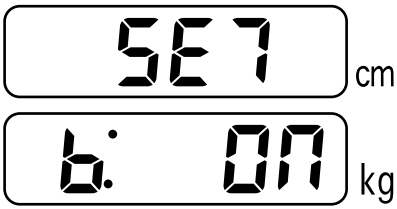


いずれかに設定してください。

2. ON/OFF キーで設定を完了するか、ホールドスイッチを再び押し、「ブザーの設定」へ進んでください。

▼ 10-4　ブザーの設定

ブザー音を消したり、ならしたりできます。

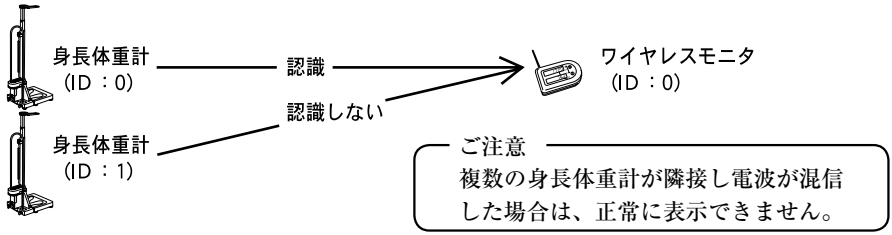


1. ZERO キーを押すごとに、点滅部分の表示が変わります。
   b　:　ON　　ブザー音あり
   b　:　OFF　　ブザー音なし
   いずれかに設定してください。

2. ON/OFF キーで設定を完了するか、ホールドスイッチを再び押し、「無線出力の設定」へ進んでください。

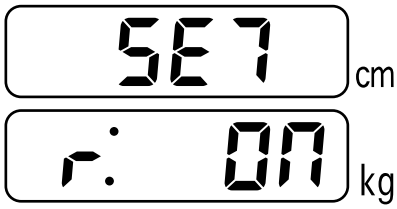
▼ 10-5　無線出力の設定

無線出力の有無や出力データを識別する無線 ID の設定が出来ます。
身長体重計とワイヤレスモニタの無線 ID を同じ ID に設定することで、測定値の表示間違いを防止できます。ワイヤレスモニタの無線 ID 設定方法は 44 ページ「無線 ID の設定」をご覧ください。



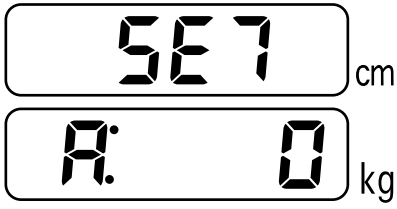
ご注意
複数の身長体重計が隣接し電波が混信した場合は、正常に表示できません。

●無線出力有無の設定



1. ZERO キーを押すごとに、点滅部分の表示が変わります。
   r　:　ON　　無線出力あり
   r　:　OFF　　無線出力なし
2. ON/OFF キーで設定を完了するか、ホールドスイッチを再び押し、「無線 ID の設定」へ進んでください。

●無線 ID の設定



1. ZERO キーを押すごとに、点滅部分の表示が変わります。
   A　:　0　　無線ID = 0(0～9の間で変更可能)
2. ON/OFF キーで設定を完了するか、ホールドスイッチを再び押し、「コンピュータ出力モードの設定」へ進んでください。

▼ 10-6　コンピュータ出力モードの設定

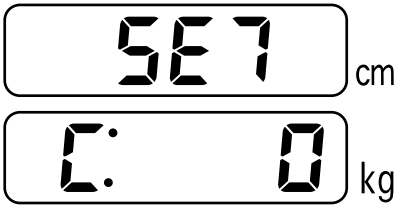
コンピュータ接続時､測定値の出力をする場合のスイッチを下記のいずれかに設定できます。

マニュアルモード　－　出力スイッチ（ホールドスイッチ）
コマンドモード　　－　コンピュータのキーボードなど

1. ZERO キーを押すごとに、点滅部分の表示が変わります。

C　:　0　　マニュアルモード
C　:　1　　コマンドモード

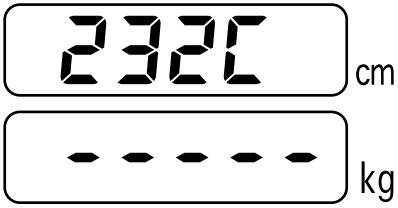
どちらかに設定してください。



2. ON/OFF キーで設定を完了するか、ホールドスイッチを再び押し､「RS-232C インターフェイスの設定」へ進んでください。

ホールドスイッチを押すと右記のような表示になります。

さらに ZERO キーを押すと RS-232C インターフェイスの設定が行えます。



※RS-232C インターフェイスの設定を行わない場合、もう一度ホールドスイッチを押すと「END」を表示します。
電源 OFF し設定を完了してください。

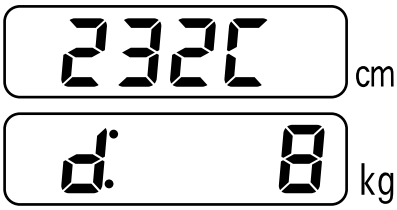
▼ 10-7　RS-232C インターフェイスの設定

RS-232C インターフェイスの条件設定ができます。

●データビット長の設定

1. ZERO キーを押すごとに、点滅部分の表示が変わります。
   d　：　7　　7 ビットデータ
   d　：　8　　8 ビットデータ

   いずれかに設定してください。



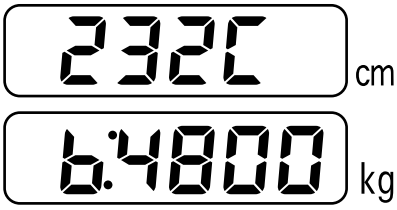
2. ON/OFF キーで設定を完了するか、ホールドスイッチを再び押し、「ボーレートの設定」へ進んでください。

●ボーレートの設定

1. ZERO キーを押すごとに、点滅部分の表示が変わります。

   b　：　600　　600 ボー
   b　：　1200　　1200 ボー
   b　：　2400　　2400 ボー
   b　：　4800　　4800 ボー
   b　：　9600　　9600 ボー

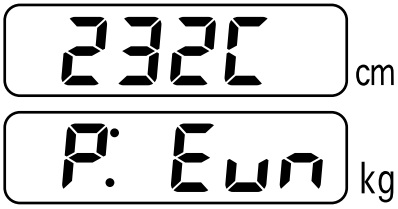
   いずれかに設定してください。



2. ON/OFF キーで設定を完了するか、ホールドスイッチを再び押し、「パリティチェックの設定」へ進んでください。

●パリティチェックの設定

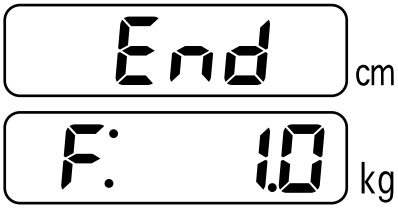
1. ZERO キーを押すごとに、点滅部分の表示が変わります。



P ： Evn　パリティ　あり（EVEN）
P ： Odd　パリティ　あり（ODD）
P ： Off　パリティ　なし

いずれかに設定してください。

2. すべての機能の設定は終了しましたので、電源 OFF し、設定完了してください。
電源 OFF せず、ホールドスイッチを押すと END が表示されます。



END 表示中、再度ホールドスイッチを押すと、初めから機能の設定が行えます。

終了の場合は電源 OFF し、設定終了を行ってください。

▼ 10-8　工場出荷時の設定

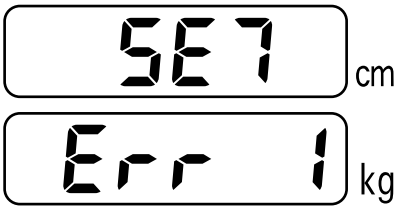
工場出荷時、下記の通り設定されています。

設定項目		初期設定	LCD 表示	
プリンタ出力モード		BMI による肥満度判定	SET	H: 1
オートパワーオフ		10 分	SET	O: 10
ブザー音		ブザー音あり	SET	b: ON
無線出力		無線出力あり	SET	r: ON
無線 ID		無線 ID = 0	SET	A: 0
コンピュータ出力モード		マニュアルモード	SET	C: 0
RS-232C の設定	データビット長	8bit	232C	d: 8
	ボーレート	4800 ボー	232C	b: 4800
	パリティチェック	あり (EVEN)	232C	P: Evn

▼ 10-9　自己診断・修正機能

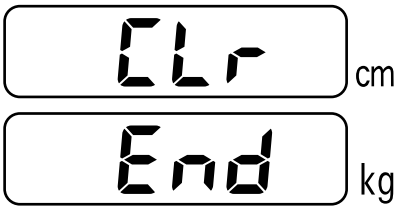
工場出荷時には万全を期し、製品検査を行っておりますが、輸送途上や測定場所の種々の条件の変化により各機能の設定内容が変化してしまうことがまれにあります。
このような不都合が生じないよう、チェック機能で、本体内部の自己診断や自己修正を行います。
電源 ON 時に下記の表示が出たとき、修正手順に従い正常な状態へ戻してください。

●一部分自己修正



体重表示部に異常が発生した箇所に「Err」(エラー) が表示されます

Err 1…RS-232C 設定エラー
Err 2…出力(プリンタ・コンピュータ・無線)設定エラー
Err 3…ブザー、オートパワーオフ設定エラー
Err 4…複数箇所の設定エラー
Err 5…設定記録時のエラー

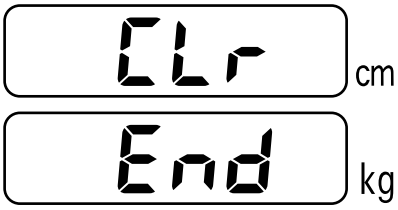


ZERO キーを押すと CLr、End が表示され、修正処理が完了します。

一度電源 OFF し、測定してください。

※異常発生箇所が工場出荷時設定に変更されていますので、必要に応じて再度設定ください。

●全体自己修正



Err 表示がなく CLr、End がいきなり表示された場合、すべての内容が工場出荷時設定に戻され、自己修正を完了します。

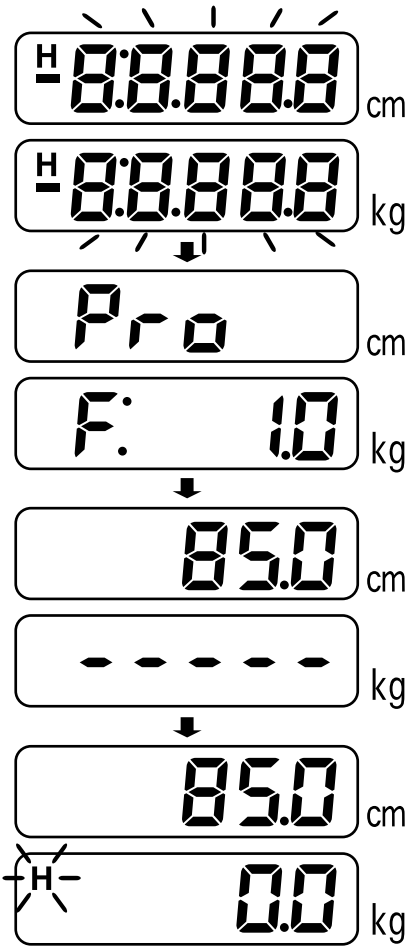
電源 OFF し、必要に応じて再度設定ください。

▼ 10-10 はかりモード

●定期検査を受ける場合に使用します。
はかりモードの場合、「体重表示が 10kg 以上の場合、安定後 3kg 以上の変動があるまで表示を保持する」機能がはたらきません。

●測定モード切替スイッチをはかりモードにし、電源 ON します。
表示が全点灯 / 全消灯を 5 回繰り返します。

●定期検査には、はかりモードを使用してください。



11. 重量加速度設定値および使用区域

▼ 11-1　地域別重力加速度一覧

重力加速度と使用可能な地域の分類を下表に記します。
2 ヶ所に記載されている都道府県は、どちらの重力加速度の範囲でも使用できます。

使用地域の表記 重力加速度の範囲	使用可能地域（都道府県）
9.803 ～ 9.807m/s^2	北海道
9.800 ～ 9.804m/s^2	青森県、岩手県、秋田県、宮城県
9.798 ～ 9.802m/s^2	宮城県、山形県、福島県、新潟県、茨城県
9.796 ～ 9.800m/s^2	栃木県、富山県、石川県、福井県、千葉県、群馬県、埼玉県、神奈川県、山梨県、東京都（除島）、静岡県、岐阜県、愛知県、三重県、大阪府、兵庫県、滋賀県、京都府、和歌山県、奈良県、島根県、岡山県、鳥取県、山口県、広島県
9.794 ～ 9.798m/s^2	山梨県、長野県、岐阜県、神奈川県、東京都（全域）、静岡県、愛知県、三重県、大阪府、和歌山県、奈良県、滋賀県、岡山県、鳥取県、山口県、広島県、香川県、愛媛県、徳島県、高知県、長崎県、福岡県、佐賀県、大分県、熊本県、鹿児島県（除島）、宮崎県
9.791 ～ 9.795m/s^2	宮崎県、鹿児島県（島）
9.789 ～ 9.792m/s^2	沖縄県

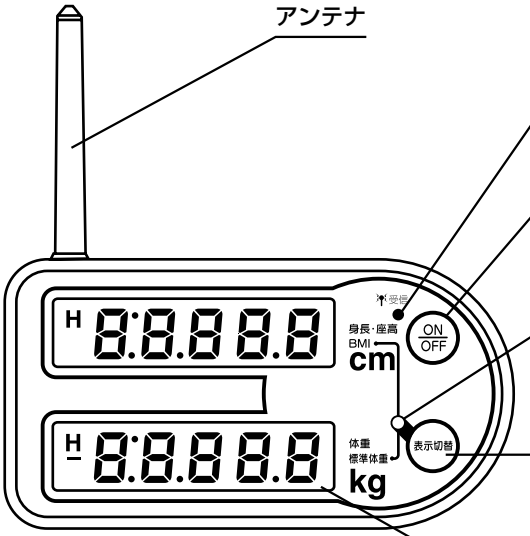
ご注意

本機器の体重計部は検定付きの計量器ですので使用可能な地域が決められています。
製品に貼付された重力加速度の範囲と上表にて、使用可能な地域をご確認ください。

12. 各部の名称と機能

▼ 12-1　名称および表示部

測定値（身長・体重・座高）表示は身長体重計と同様です。



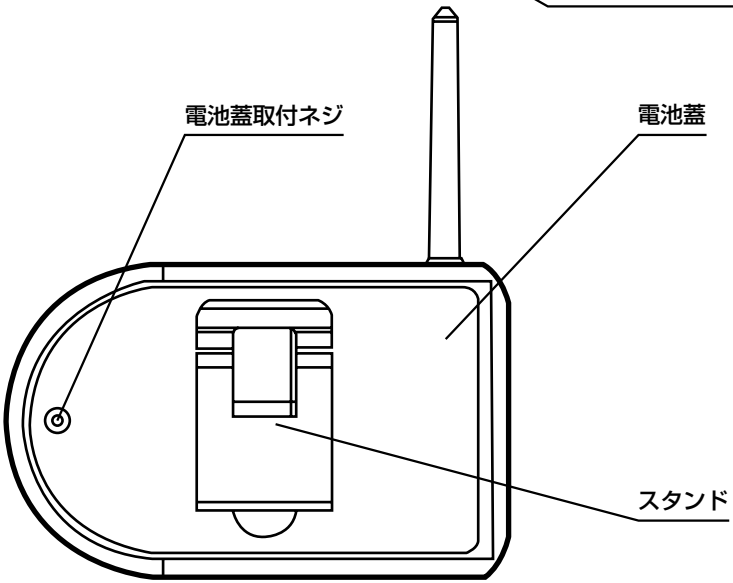
無線受信確認ランプ
正常データを受信してから約 0.5 秒の間点灯します。

電源 ON/OFF キー
本体の電源 ON/OFF を切替えます。

BMI 表示ランプ
BMI･標準体重表示モードで点灯し、測定値表示モードでは消灯します。

表示モード切替（設定キー）
表紙内容を測定値⇔ BMI・標準体重に切替えます。

表示部
上段に身長（座高）/BMI を、下段に体重 / 標準体重を表示モードに合わせて表示します。



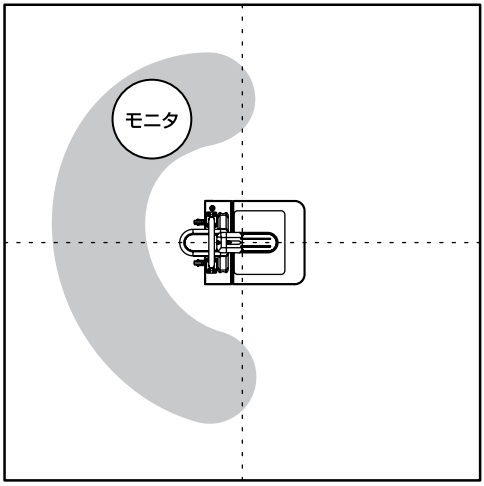
▼ 12-2　仕様

品　　番	WM-6350
品　　名	ワイヤレスモニタ
周波数 / 電波形式	315MHz/FSK
表　　示	デジタル 4 桁　LCD 表示
表 示 単 位	0.1cm（1mm）/0.1kg（100g）
機　　能	身長（座高）/ 体重表示機能、BMI/ 標準体重表示機能、ID 設定機能、オートパワーオフ機能、自己診断・修正機能
使 用 温 度	0℃～+ 40℃
電　　源	単 3 形乾電池 4 本
重量（電池含む）	400g
外形寸法（アンテナ含む）	170（W）× 190（L）× 55（H）mm
材　　質	本体ケース /ABS 樹脂

ワイヤレスモニタ推奨設置位置

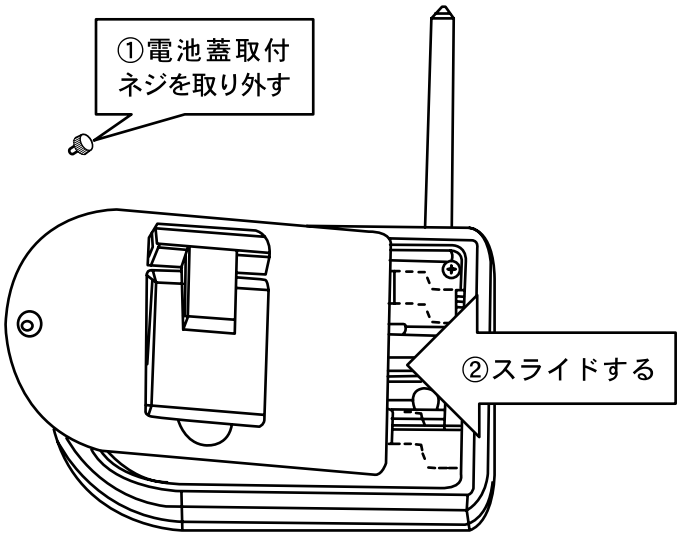
通信距離は周囲環境により異なりますが、約 1.5m 程度です。

※人や物の移動などにより、一時的に電波が遮断されることがあります。

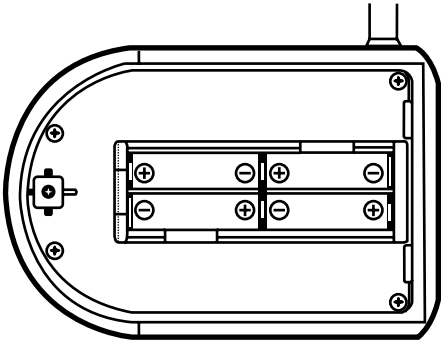


13. 電池の設置・交換

1. 電池蓋取付ネジを取り外し、蓋をスライドさせて外します。



2. 電池の＋・－の向きを電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
電池交換の場合は、消耗した乾電池を取りはずし、４本同時に新しい乾電池 (単３) と交換してください。



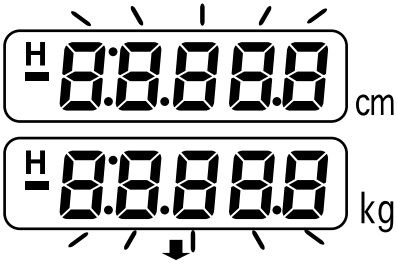
3. 蓋をスライドさせて本体にセットし、ネジを締めます。

14. 使用方法

▼ 14-1　測定値を表示する

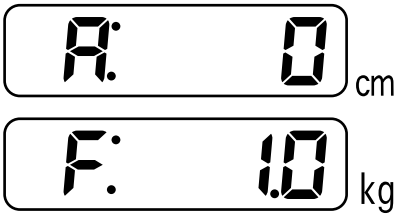
1.電源を ON する

電源 ON/OFF キーを押し、本体の電源を入れます。
表示が全点灯 / 全消灯を 5 回繰り返します。



2.初期表示

電源 ON 後、約 2 秒間は表示部上段に無線 ID が表示されます。



3.測定値の表示

無線受信確認ランプが点灯（または点滅）し、身長体重計と同様の内容が表示されます。

無線受信確認ランプが点滅する場合は、ワイヤレスモニタの設置場所を変更すると受信状況が良くなる場合があります。

▼ 14-2　BMI・標準体重を表示する

1.測定値を表示させる

42 ページ「測定値を表示する」を参照し、測定値を表示させます。

2.表示モードを切り替える

表示切替 キーを押し、「BMI・標準体重表示モード」に切り替えます。このとき BMI 表示ランプが点灯します。

ご注意
- BMI は身長≧ 1m、体重≧ 10kg の場合のみ計算されます。
- 標準体重は身長≧ 1m の場合のみ計算されます。
- 計算できない場合は no を表示します。

15. いろんな機能

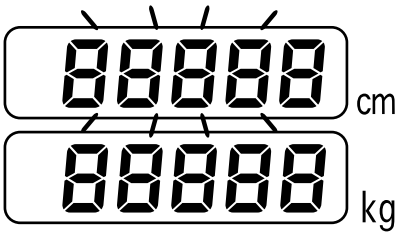
▼ 15-1　オートパワーオフ機能

正常データの受信やキー操作が約 1 分以上確認できなかった場合、本機器は節電のため、自動的に電源 OFF します。

▼ 15-2　無線受信に関するエラー表示

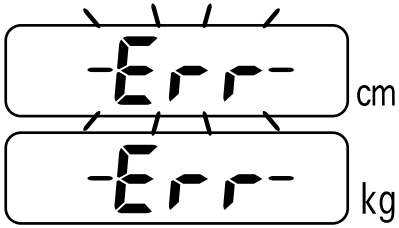
1.初回無線受信エラー

初期表示終了後、無線受信が確認できない場合は表示部に 88888 が点滅表示します。正常データの受信で測定値（または BMI/ 標準体重）が表示され復帰します。



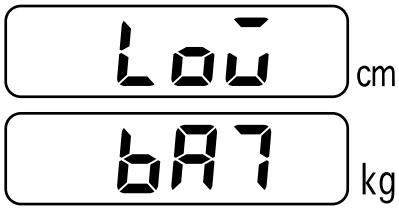
2.無線受信タイムアウトエラー

10 秒以上正常データの受信が確認できない場合、表示部に Err が点滅表示します。



▼ 15-3　電池残量警告（ローバッテリー）表示

本機器は常に電源電圧を監視しています。電池残量が少なくなったことを感知すると、低電圧（Low Battery）を意味する右記の表示が出現します。



▼ 15-4　計算不可表示

BMI/ 標準体重表示モードの際、測定値が基準値を満たしていないか、座高計データを受信している場合は表示部に no が表示されます。

基準値については 42 ページ「BMI・標準体重を表示する」を参照ください。

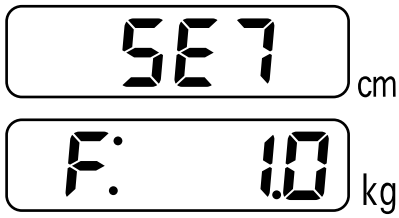
16. 機器の設定

▼ 16-1　無線 ID の設定（複数台の身長体重計を同時にご使用される場合）

表示した身長体重計の ID と同様の ID に設定することにより、機器の誤表示を防止します。
身長体重計の無線 ID の変更方法は 32 ページ「無線出力の設定」をご覧ください。

1.無線 ID 設定モードに移行する

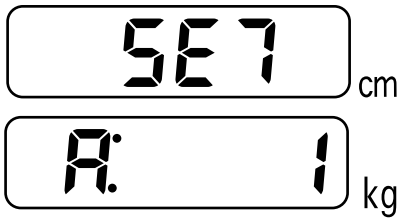
表示切替 キーを押しながら、電源 ON/OFF キーを押して電源 ON すると、無線 ID の設定が可能になります。



2.無線 ID を変更する

初期表示終了後、現在の無線 ID が点滅表示されます。

表示切替 キーを押し、使用する身長体重計の無線 ID と同一の設定にします。



3.電源 OFF する

電源 ON/OFF キーを押し、電源 OFF します。

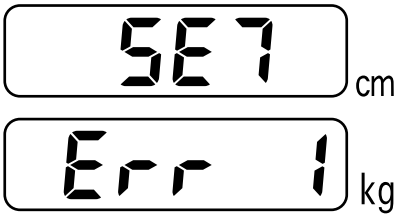
このとき設定値が保存され、次回電源 ON 時に設定が反映されます。

▼16-2　工場出荷時の設定

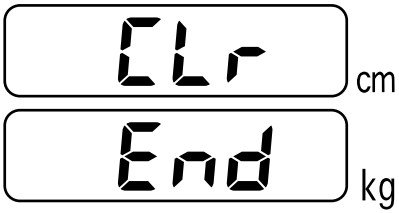
工場出荷時の無線 ID は「0」に設定されています。

▼16-3　自己診断・修正機能

身長体重計と同様にワイヤレスモニタにも自己診断・修正機能が設置されています。



Err1…無線設定エラー
Err5…設定記録時のエラー



表示切替 キーを押すと CLr、End が表示され、修正処理が完了します。一度電源 OFF してください。

※異常発生箇所が工場出荷時設定に変更されていますので､必要に応じて設定してください。

17. 使用前点検

⚠警告

・安全に正しく使用するため使用前点検は必ず行ってください。

一日の最初に使用する時、以下の使用前点検を行ってください。

▼ 17-1　電源投入前

電源投入前に下記点検を行い問題ないことを確認してご使用ください。

・本体、付属品も含め変形や破損はないか。
・補助バーおよび支柱がしっかりと固定され、ガタつきがないか。
・支柱の動作を確認し異常がないか。
・汚れがひどくないか。
・濡れていないか。(特に台座部)

ＡＣアダプタ
・本体のコネクタにプラグが確実に挿入されているか。
・電源ケーブルの上に重いものを置いたり、本体やオプション品の下敷きになっていないか。
・電源ケーブル、プラグは傷んでいないか。

オプション品
・デスクトッププリンタ、または外部接続機器（コンピュータ等）への通信ケーブルに損傷、接続ずれはないか。
・デスクトッププリンタの用紙は装着されているか。

▼ 17-2　電源投入後

・けむりが出たり、変なにおいはないか
・異常な音が聞こえないか

測定部
・カーソルを動かし表示上の異常はないか

表示部
・表示上で異常はないか
・カーソルを動かし、表示上で異常はないか

上記の「使用前点検」で、設定等が違う場合、本機器の取扱説明書をご参照の上、修正を行ってください。

18. 保守点検

装置を正しくお使いいただくために、定期的に保守点検を実施してください。保守点検の主な内容は以下の通りです。

1. 電源投入前

項目	内容
外観	落下等による変形、破損の有無
	各部の汚れ、サビ、傷の有無
	補助バーのガタつきの有無
操作部	スイッチ類の破損、ガタつきの有無
表示部	画面の汚れ、傷の有無
測定部	カーソルの損傷、動作異常の有無
支柱部	支柱のガタつき、および上下動作異常の有無
記録部（オプション）	プリンタペーパーが指定品であること
電源部	電源ケーブルの損傷の有無
	表示器本体のコネクタにしっかりと挿入されていること
接続ケーブル	電源ケーブルや接続ケーブルの上に、重いもの、イス、本体等がのっていないこと

2. 電源投入後

項目	内容
外観	けむりが出たり、変なにおいがないこと
	異常な音がしないこと
操作部	スイッチ類の破損、ガタつきの有無
表示部	表示装置のマーク、記号、数字等の表示欠けの有無
測定部	実測し測定動作を確認し異常がないこと
データ処理（他コンピュータ等への接続の場合）	測定値を表示確認し異常がないこと
記録部（オプション）	プリンタペーパーの有無
	プリンターペーパーが正しく紙送りされること
	テスト印刷による印字欠けを確認し異常がないこと
電源部	電源電圧を確認し異常がないこと

・機器に異常がある場合は、点検にお出しください。

19. こんな時には……故障かな？と思う前に

修理依頼される前に、もう一度ご確認ください。

■デジタル身長・体重計

現象	確認または調整
電源 ON しても何も表示しない。	AC アダプタは正しく差し込まれていますか？ 電池は正しく入っていますか？
電源 ON しても身長計部に Err がでる。	支柱は完全に収納されていますか？ スイッチホルダーがカーソルに接触していませんか？
荷重と表示がズレている。	台座が障害物に接触していませんか？ 重力加速度の範囲と使用区域はあっていますか？
身長の測定値が 30cm ズレている。	座高計モードで動作していませんか？
体重表示部に ----- が表示されている。	座高計モードで動作していませんか？
身長表示部に文字を表示する。	機能の設定状態になっていませんか？ 自己診断・修正機能がはたらいていませんか？
ZERO キーを押しても、体重表示部がゼロにならない。	表示値安定状態になっていますか？ 非安定状態では ZERO キーは、はたらきません。
ZERO キーを押すと、体重表示部左上に ◘ が表示される。	0.5kg 以上を表示している場合、ZERO キーは風袋引きとしてはたらきます。
ホールドスイッチを押しても表示がホールドされない。	表示値安定状態になっていますか？ 非安定状態ではホールドスイッチは、はたらきません。
個別肥満度検診モードで、肥満度判定のプリントをしない。	測定結果が規定値以上ありますか？ (24 ページ「集団検診モードと個人別肥満度検診モード」参照)
キー、スイッチがきかない。表示が変化しない。	AC アダプタまたは、電池を抜いて電源を切り、もう一度最初から始めてください。
ホールドスイッチ（出力スイッチ）を押してもデータが出力されない。	専用ケーブルを使用していますか？ 表示値安定状態になっていますか？

19. こんな時には……故障かな？と思う前に（つづき）

修理依頼される前に、もう一度ご確認ください。

■ワイヤレスモニタ

現象	確認または調整
表示が時々 [-----] になることがある。	正常受信ができなかった場合、左記のバー表示になります。頻繁に発生する場合は設置場所を変更してみてください。
身長も体重も [Err] 表示から復帰しない。	無線受信確認ランプは点灯していますか？ 身長体重計本体が隣接していませんか？ 設置場所を変更してみてください。 身長体重計本体の無線出力が有効であるか？ 無線 ID が整合しているか？ も併せて確認してください。
BMI ／標準体重表示モードにすると [no] 表示になる。	計算条件を満たしていません。詳細は 42 ページ「BMI・標準体重を表示する」の注意事項をご覧ください。
身長や体重の値が現実的でない。	BMI/ 標準体重表示モードになっていませんか？　BMI 表示ランプが点灯していないか確認してください。

20. 保証書および修理規定

保　証　書

品名：デジタル身長・体重計

品番：

有効保証期間：1ヶ年

この保証書は本書記載の内容により無料修理を行う事をお約束するものです。お買い上げの日から左記期間中に正常なご使用において万一、故障が発生しましたときは製品と本書を最寄りの当社営業所にご送付ください。

お客様	ご芳名	
	ご住所	
		〒　　TEL
お買上げ日		平成　　年　　月　　日
販売店	店名	印
	住所	TEL

株式会社 エー・アンド・デイ

無料保証規定

本機器が取扱説明書等に従う正常な使用状態において故障した場合は、お買い上げの日より1ヶ年無料修理いたします。
保証期間内に故障して無料修理を受けられる場合は製品と本書を最寄りの当社営業所まで送付ください。
保証期間内でも右記の場合は有償になります。

a) 誤用、乱用による故障や取扱い不注意による故障
b) 火災、地震、水害、落雷などによる故障、損傷
c) 不適当な修理や改造による故障
d) 本書の送付のない場合、および本書に必要事項（お買い上げ日、販売店）のない場合

本書は日本国内のみ有効です。

A&D 株式会社 エー・アンド・デイ

本社　〒170-0013　東京都豊島区東池袋 3-23-14　ダイハツ・ニッセイ池袋ビル

製品に関するご質問・ご相談窓口

受付時間　AM9:00 ～ PM6:00　　月曜日～金曜日（祝日、弊社休業日を除く）

本　　社		
計量器・天びん・計測器・試験機	TEL. 03-5391-6126（直）	FAX. 03-5391-6129
メディカル機器・家庭用健康機器	TEL. 03-5391-6127（直）	FAX. 03-5391-6129
札幌出張所	TEL. 011-251-2753（代）	FAX. 011-251-2759
仙台出張所	TEL. 022-211-8051（代）	FAX. 022-211-8052
東京北営業所	TEL. 048-592-3111（代）	FAX. 048-592-3117
東京南営業所	TEL. 045-476-5231（代）	FAX. 045-476-5232
静岡出張所	TEL. 054-286-2880（代）	FAX. 054-286-2955
名古屋営業所	TEL. 052-701-5681（代）	FAX. 052-701-5683
大阪営業所	TEL. 06-4805-1200（代）	FAX. 06-4805-1201
広島営業所	TEL. 082-233-0611（代）	FAX. 082-233-7058
福岡営業所	TEL. 092-441-6715（代）	FAX. 092-411-2815

製品の技術問い合わせ・修理の受付窓口

受付時間　AM9:00 ～ PM5:30　　月曜日～金曜日（祝日、弊社休業日を除く）

開発・技術センター　FE部	〒364-8585　埼玉県北本市朝日 1-243	
技術問い合わせ	TEL. 048-593-1743（直）	FAX. 048-593-1483
修理の受付	TEL. 048-593-1459（直）	FAX. 048-593-1483
名古屋営業所　FE課	〒465-0044　名古屋市名東区小井堀町 402	
	TEL. 052-701-5681（代）	FAX. 052-701-5683
大阪営業所　FE課	〒532-0011　大阪市淀川区西中島 6-1-3	
	TEL. 06-4805-1208（直）	FAX. 06-4805-1201
広島営業所　FE課	〒733-0037　広島市西区西観音町 9-7	
	TEL. 082-233-0611（代）	FAX. 082-233-7058
福岡営業所　FE課	〒812-0013　福岡市博多区博多駅東 3-5-8	
	TEL. 092-441-6715（代）	FAX. 092-411-2815

●電話番号、ファクシミリ番号は、2008 年 05 月 19 日現在です。
●電話番号、ファクシミリ番号は、予告なく変更される場合があります。
＊電話のかけまちがいにご注意ください。番号をよくお確かめの上、おかけくださるようお願いします。